

令和2年度
全国学力・学習状況調査における佐賀県の質問紙調査の結果

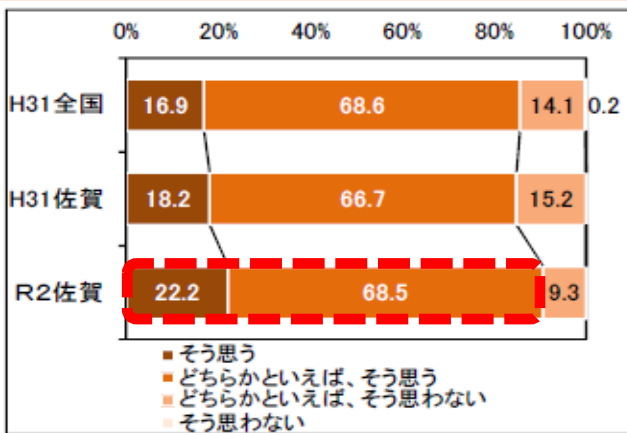
佐賀県で実施した学校質問紙調査及び児童生徒質問紙調査の結果は、もう御覧になりましたか。今回は、県全体における学校質問紙調査の結果を中心にお知らせします。

【学校質問紙】

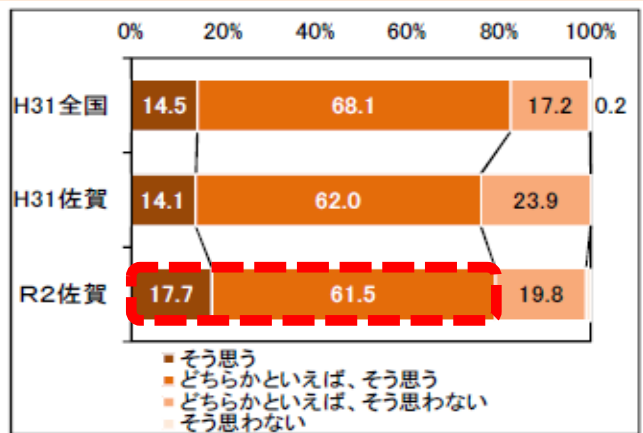
○ 児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか。

「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した学校の割合で見ると、令和元年度（平成31年度）と比べて、小学校は大幅に増加し、中学校は増加しています。

《小学校》



《中学校》

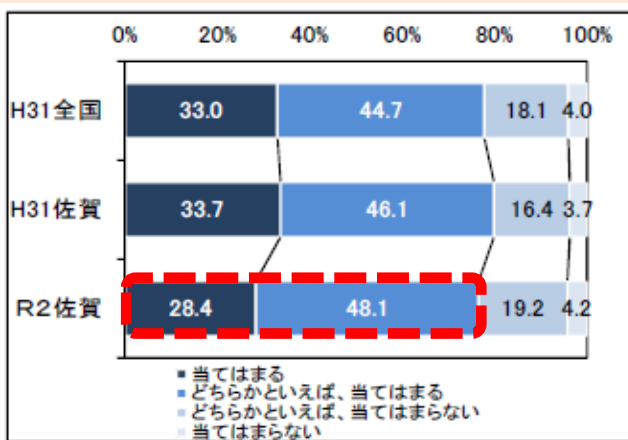


【児童生徒質問紙】

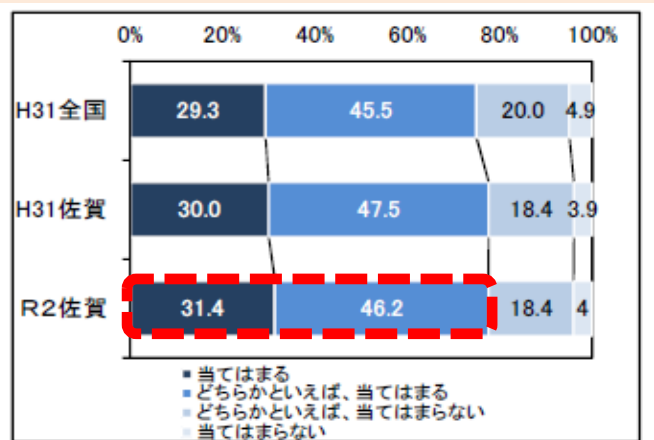
○ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合で見ると、令和元年度（平成31年度）と比べて、小学校6年生は減少し、中学校3年生は同程度です。

《小学校6年生》



《中学校3年生》



学校質問紙調査を見ると、小・中学校ともに前年度より肯定的な回答が増加しています。しかし、児童生徒質問紙調査と比較すると、特に、小学校において、教員は課題解決に向けた授業ができていると感じている一方で、児童生徒は必ずしもそうではないという結果がみられます。児童生徒の実態を十分に把握し、その実態に応じた授業づくりが大切ですね！

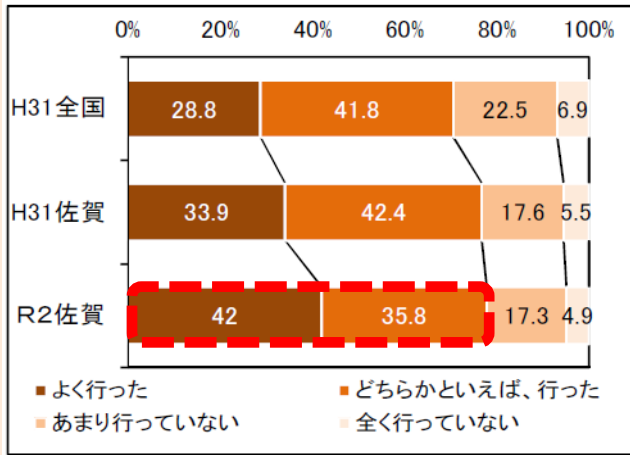


【学校質問紙】

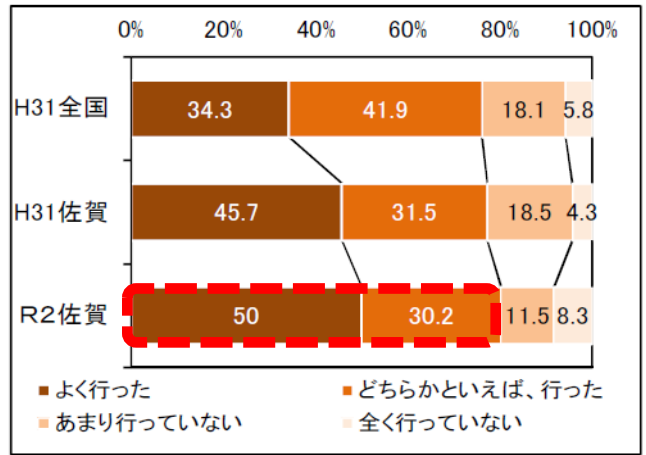
○ 近隣等の小中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか。

「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合で見ると、令和元年度（平成31年度）と比べて、小学校、中学校ともに増加しています。

《小学校》



《中学校》



小・中学校ともに前年度より肯定的な回答が増えており、小・中学校が連携しながら、児童生徒の学力向上に向けて、授業改善に向けた取組がなされてきていることが分かります！



インフォメーション

令和2年度 全国学力・学習状況調査 「調査問題活用の参考資料」について

今年度、国立教育政策研究所から「調査問題活用の参考資料」が各学校等へ配布されています。令和2年度の全国学力・学習状況調査は実施されませんでしたが、7月に送付された調査問題の冊子・解説資料については、各学校等において有効に活用していただいていることと思います。その問題冊子等と併せて、学習指導の改善・充実を図る際に、御活用ください。

国立教育政策研究所のホームページでも公開されています。

<https://www.nier.go.jp/sankou/r02/>

各教育委員会や各学校等において、組織的・継続的な取組を展開していきましょう！



小学校用紙「調査問題活用の参考資料」の見方

本資料について

本資料は、令和2年度全国学力・学習状況調査の調査問題を活用して、日々の学習指導の改善・充実を図ることができるように、調査問題の趣旨を生かした学習指導の工夫の例を示したものです。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症に係る学校教育への影響等を考慮し、調査は実施しないこととしましたが、各教育委員会や学校等において、組織的・継続的な取組を展開する際の参考となるよう作成しました。

調査問題を縮小して掲載しています。原簿の冊子のより一冊を省略しているものもあります。

1. 出題の趣旨
 趣旨ごとに、出題の意図、把握しようとする力、留意点などについて記述しています。
 解説資料の内容を一部掲載しています。

2. 調査問題の活用に当たって【授業アイデア例】
 調査問題の趣旨を生かした授業のアイデアの一例を示しています。

タイトルでは、児童がどのような活動を行うかを、サブタイトルでは、児童がどのような力を身に付けるのかを示しています。また、参考として実施対象学年も記述しています。

【指導のねらい】
 児童に身に付けさせたい力を記述しています。

特徴

小学校用紙「調査問題活用の参考資料」では、どのような言語活動を通して読解・能力を育成するのが明確になるように、〈学習の流れ〉を示しています。そして、一連の言語活動の中で調査問題を活用している学習活動については、後者や発問の例などを具体的に示し、より詳しく紹介しています。

※ について
 提示した学習活動において、特に注目・留意すべき指針上のポイントを記述しています。

【活用のポイント】
 本授業アイデア例を活用する際の留意点等を記述しています。

3. 出典等
 著作物について、出典及び著作権者等を示しています。